

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.32

第 53 回大会のご案内

第 53 回大会準備委員会委員長 恒吉 僚子

この度、日本比較教育学会の第 53 回大会を東京大学大学院教育学研究科（本郷キャンパス）において、2017 年 6 月 23 日（金）～25 日（日）に開催させていただくことになりました。しかし、教育学研究科の建物（＝教育学部棟）は 2016 年から 2017 年にかけて耐震工事を行っており、教育学研究科の教員たちも他施設に仮住まいをしています。そのため、本大会も多くは他学部の教室を借りながらの開催となりますが、一部新しくリニューアルされた教育学部棟の施設も活用できればと考えております。参加者の方々には学内での移動をお願いする場面もあるかと思いますが、その際には都心にありながら緑豊かなキャンパスの雰囲気味わっていただくことで、ご不便をお許しただければ幸いです。

公開シンポジウムは、フィンランドとシンガポールという世界的に教育モデルが参照され、借用される国々からの専門家を招聘し、グローバル時代における教育モデルや教育政策の国を越えた借用（educational transfer, borrowing）のあり方について、日本との比較を通して考える機会にできればと思っております。そのために、同時通訳を入れた国際シンポジウムを安田講堂にて開催する予定にしています。このシンポジウムは、東京大学大学院教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センターとの共催で行いますが、会員の方々に加え、一般からの参加者も迎えて、活発な議論となることを期待しています。なお、会場となる安田講堂は最近、歴史的な外観を残しつつ、内部を大幅に改装しました。学生運動などの歴史を象徴してきた安田講堂の新しい姿も、ぜひ多くの方にご覧いただければと思っております。

また、大会への参加・発表申し込み、発表要旨の登録などにつきましては、今回の大会もウェブ上で行っていただきます。加えて、経費節減のため、引き続き、会員の皆さまへのプログラムの郵送はせずに、ウェブ上からダウンロードしていただくこととなります。ご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

比較的交通の便の良い会場となりますので、多くの方にご参加いただけるのではないかと期待しております。ただ、その分、自由研究発表やラウンドテーブルの数も多くなることが予想されます。意外にも本学会大会の東京大学本郷キャンパスでの開催は初めてであり、本校にとっては記念すべき初回を滞りなく開催し、皆さんに快適で充実した時間を過ごしていただけるよう、大会準備委員会一同、努力したいと思います。

実りの多い第53回大会となりますよう、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

大会準備委員会 連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院教育学研究科 北村友人研究室気付
日本比較教育学会第 53 回大会準備委員会

E-mail: jces53.tokyo@gmail.com

URL: <http://www.gakkai.ne.jp/jces/taikai/53/>

第16回世界比較教育学会（WCCES）大会 報告

中国教育学会比較教育分会理事長

王 英傑（北京師範大学）

2016年8月26日、5日間にわたる第16回世界比較教育学会大会が北京師範大学で幕を下ろしました。今回の大会は中国教育学会比較教育分会と北京師範大学の共催で、世界比較教育学会が成立して以来40年間で初めて中国で開かれた大会でした。世界70余りの国と地域から1,000名を超える専門家や研究者が参加して盛会となりました。

大会のテーマは「Dialectics of Education: Comparative Perspectives」でした。8月22日、董奇・北京師範大学長に主宰いただいた開会式では、陳宝生・教育部長、劉川生・北京師範大学校務委員会主席、Carlos Alberto Torres・世界比較教育学会長、顧明遠・中国教育学会名誉会長、北京師範大学資深教授からご挨拶を賜りました。また、王英傑・中国教育学会比較教育分会理事長、第16回世界比較教育学会大会組織委員会主席と、Andreas Schleicher・OECD教育局次長、事務総長教育顧問が基調講演を行いました。王英傑教授は「The Prospect of Chinese Schools: From the Perspective of Dialectics」と題し、中国の学校教育における6つの矛盾——教育目的の墨守と異化、学生の成長の楽しみと苦痛、保護者の苛立ちと期待、教師の継続と解放、校長の困惑と突破、学校組織の深化と変異——を詳述しました。Andreas Schleicher氏の報告は、「Better Skills, Better Jobs, Better Lives—The Challenge of Connecting the Worlds of Learning and Work」と題して行われ、国際成人力調査（PIAAC）の結果に基づいて、他国の教育と労働市場の関係を分析し、個人のよりよい生活と社会的、経済的発展を促進するために、青少年の技能の学習と訓練を強化しなければならないと述べました。

8月24日には英東学術ホールにおいて、トロント大学オンタリオ教育学院のRuth Hayhoe教授と、Carlos Alberto Torres・世界比較教育学会長より、それぞれ基調講演がありました。Ruth Hayhoe教授は、「China in the Center: What will it Mean for Global Education?」と題して、主として中国における教育発展の経験、中国教育が世界に与えた影響、中国がアフリカや東南アジア諸国に与えた教育援助の3点について論じました。Carlos Alberto Torres教授の講演は「The State of the Art of Comparative Education: WCCES at a Crossroads in the 21st Century」と題して行われ、主な内容は「グローバルな観点から21世紀における比較教育学の発展をどのように理解すべきか」と「グローバルな時代において比較教育学はどのような責任を持ちどのように立ち向かうのか」の2点でした。比較教育学は現代の発展段階において明確な時代の刻印を有しており、グローバルな特徴を備えた専門分野として、グローバル化自体がこの分野の深い理解と解釈に視点を与えてくれるとともに、比較教育学の発展に対してアイデンティティや定義の問題をもたらしていると述べました。

この大会では、1,000本余りの論文が提出され、上述した4つの基調講演のほか、4つのパネル、274の分科会、4つのポスターセッションが行われました。世界各国から参加した専門家や研究者により最新の研究成果が報告され、そのすばらしい発表によって、世界的な教育発展の現状が述べられると同時に、世界的な教育改革に対する参加者の大きな反響や積極的な議論が生まれました。このことで、世界的な教育分野の思想的対話や学術交流に大きく貢献できたと考えています。また、この大会を通じて、中国における教育発展の成果や改革の動向、北京師範大学の学術の水準と改革の成果、中国の比較教育学者の研究成果と気風を世界に示すことができました。そして、国内外の参加者から、今回の大会がこれまでの世界比較教育学会で最も成功した大会だとの評価をいただきました。

(翻訳：南部 広孝)

● 紀要編集委員会

委員長 杉村 美紀

紀要編集委員会では現在、『比較教育学研究』第55号の編集を進めております。第52号から、和文論文の投稿時には「論文投稿チェックシート」を一緒にご提出いただくことになりました。皆さまのご協力のおかげで、この制度も今ではすっかり定着し、その結果、形式審査では形式不備による不採択論文が大きく減りました。第55号の場合にはすべての投稿論文が形式審査をクリアして査読に付されることになりました。

また、投稿の締め切りは毎年1月20日と7月20日（当日消印有効）となっております。次の第56号の投稿締め切りは2017年7月20日（当日消印有効）です。第56号からは次期編集委員会の担当となりますが、事務局の移行期間中、ご質問等を含め応募は下記の通り、現行の紀要編集委員会でも受け付けます。皆さまからのご応募をお待ちしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【原稿提出・連絡先】

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学総合人間科学部教育学科内
日本比較教育学会紀要編集委員会事務局
Tel : 03-3238-3593 (杉村研究室)
03-3238-3649 (小松研究室)
03-3238-4293 (山崎研究室)
Fax : 03-3238-3980 (教育学科共通)
Email : jces.sophia@gmail.com

● 研究委員会

委員長 山内 乾史

研究委員会では来学年度の科学研究費補助金の応募に対して、基盤研究（一般）(B)の申請を行いました。タイトルは「グローバル化時代における『能力形成』の政治経済学的研究」、年度は2017（平成29）年度から3年間です。研究委員会のメンバーを中心に、能力論、学力論、才能教育論について研究している会員を加えて申請しました。

この研究テーマについては2016年6月の大阪大学での大会時に課題研究Ⅱで報告したところですが、2017年6月の東京大学での大会時に第2弾の報告を行う予定です。また、ここ2年、若手の研究支援の一環として行っている、研究

委員会企画のラウンドテーブルですが、東京大学の大会では「比較教育学研究のリサーチ・スキル」と題して行います。

なお、過去2年間行ってきたラウンドテーブルの成果と合わせて、東信堂より下記書籍を刊行する予定です。

『比較教育学研究のアカデミック・スキルズ（仮題）』

- I アカデミック・ライティング
田中正弘（筑波大学）、西村幹子（国際基督教大学）、近田政博（神戸大学）
- II アカデミック・プレゼンテーション
米原あき（東洋大学）、乾美紀（兵庫県立大学）、北村友人（東京大学）
- III リサーチ・スキル
小川啓一（神戸大学）、原清治（佛教大学）、中矢礼美（広島大学）
- IV 研究倫理
澤野由紀子（聖心女子大学）、武寛子（愛知教育大学）、山内乾史（神戸大学）

これにつきましては、下田勝司社長とご相談した結果、四六版、100頁程度で定価も1,000円程度のものを予定しております。詳細が決まれば、改めて報告させていただきます。

● 教育関連学会連絡協議会

担当理事 窪田 眞二

教育関連学会連絡協議会は、教育関連学会の緩やかな連携組織です。年1回の総会と公開シンポジウム開催、政府への政策提言、大型研究計画への参加準備、学会間の交流などの活動を目的としています。

今回の総会とシンポジウムは下記のように2017年3月18日（土）に開催されます。本学会からは、指定討論者として、山内乾史会員（神戸大学）が登壇されます。

テーマ：「教育研究分野における若手育成」

日時：2017年3月18日（土）午後2時から5時
場所：学習院大学

報告：①教育研究における若手育成
②教科教育研究における若手育成
③研究大学における若手育成

指定討論：日本教育工学会、日本比較教育学会から各1名

■お知らせ

役員選挙の実施について

2017年度には3年に一度の役員改選が実施されます。会員各位の学会登録個人情報については前回のニューズレターに同封して確認いただいておりますが、投票地区の確定に必要となりますので、**登録情報に変更のある方は必ず、2017年4月3日（月）までにSOLTI上にて変更手続きを行ってください。**理事選挙は4月14日（金）から4月28日（金）（必着）の期間で行われる予定です。会員の皆さまにはもれなく投票いただきますようお願いいたします。

本学会では、**大会発表と同時に入会申し込みをされる方については期限を設けて受付を行っています。**第53回大会に関しましては、大会案内にも明記してありますように、**2017年3月19日（日）（必着）が入会申込みの締め切りとなっています。**上記の役員選挙との関係でこれを過ぎますと受け付けることができませんので、周囲に該当の方がいらっしゃいましたらぜひお伝えください。

● 新入会員（2016年9月～2017年2月 入会申し込み順）

ウェブ版では非公開

（2017年2月12日現在の会員数 953人）

● 年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕00820-6-16161

日本比較教育学会事務局

* ご所属先を通じて納入される方は、入金の際に必ず事務局までご一報くださいますよう、お願い申し上げます。

* 所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ず事務局へご連絡をお願いします。

【注意】

「学生会員」として登録されている会員で、所属・身分等の変更により「学生」でなくなった方は、会員情報管理システムにて通常会員へ資格変更の上、通常会員としての年会費（10,000円）をお支払いください。

● 学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承ください。

- ・伊藤亜希子『移民とドイツ社会をつなぐ教育支援－異文化間教育の視点から－』九州大学出版会、2017年。
- ・北村友人編『グローバル時代の市民形成』（岩波講座 教育 変革への展望 7）岩波書店、2016年。
- ・小玉重夫編『学校のポリティクス』（岩波講座 教育 変革への展望 6）岩波書店、2016年。
- ・小松太郎編『途上国世界の教育と開発－公正な世界を求めて－』上智大学出版、2016年。
- ・佐藤学編『学びの専門家としての教師』（岩波講座 教育 変革への展望 4）岩波書店、2016年。
- ・原田信之『ドイツの協同学習と汎用的能力の育成－持続可能性教育の基盤形成のために－』あいり出版、2016年。

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科
日本比較教育学会・京都大学内事務局
Tel/Fax : 075-753-3039
E-mail : jcesjimu@outlook.jp

会員情報、入退会、会費、システム、HPIに関する連絡

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1
第2ユニオンビル4F
(株)ガリレオ東京オフィス学会業務情報化センター内
日本比較教育学会事務局
Tel : 03-5981-9824 Fax : 03-5981-9852
E-mail : g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp
URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>